

手順4 Excel データを活用する (リスト/グラフ・色分け)

外部の表データ (CSV形式) を読み込み、リスト表示やカード表示、その値によって簡単なグラフ (円、正方形、棒の3種類) や色分け表示することができます。この機能を使って地図太郎の属性情報に無い項目も、Excel で作成し CSV 形式で保存することにより、自由に作成することができます。(Excel でデータを保存するとき「名前を付けて保存」→「ファイルの種類」で「CSV (カンマ区切り) (*.csv)」を指定して保存します)

(1) CSV データの結合 (読み込み) 【CSV データ】

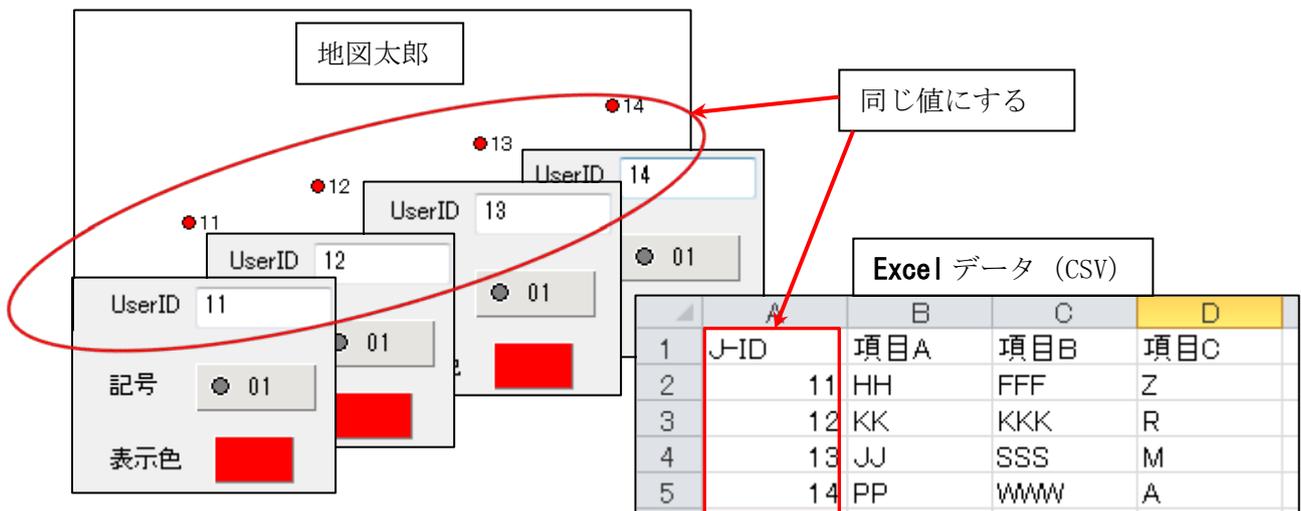
CSV (カンマ区切りテキスト) データを読み込み、編集レイヤと結合します。

通常、編集レイヤと CSV データを UserID の値をキーに結合します。「カンマ区切りテキストファイルの選択」ダイアログで、結合したい CSV データファイルを指定します。

Excel データも CSV 保存することで、結合することができます。

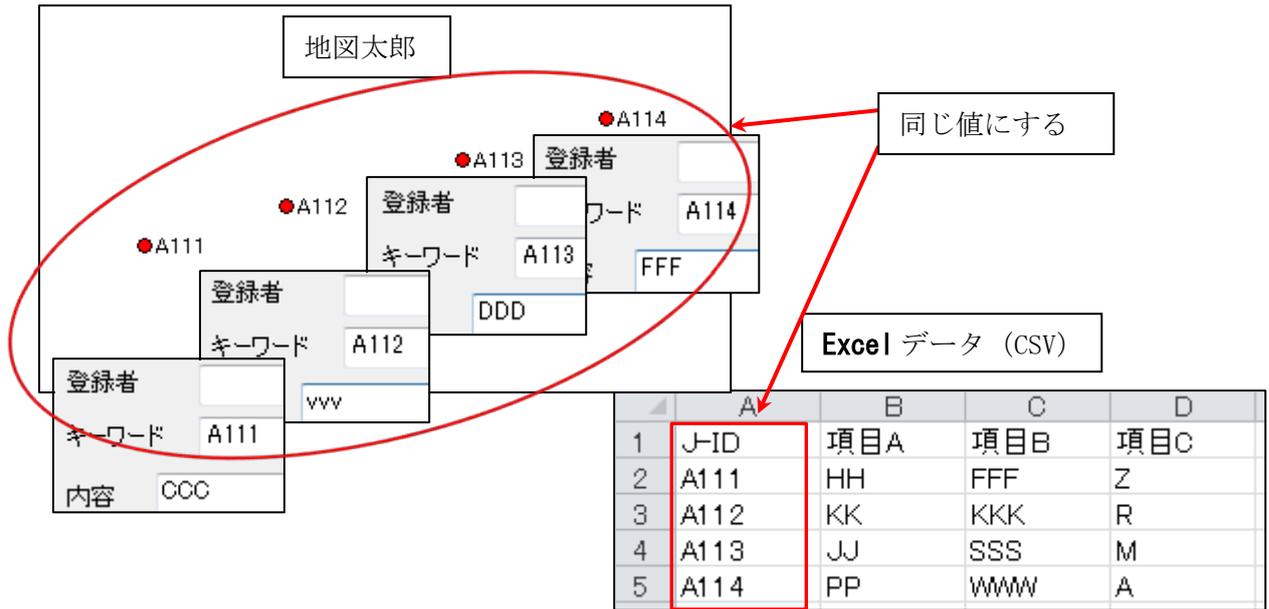
- 注意**
- 結合する CSV データの先頭のレコード (行) は項目名として表示されます。(項目名行が必要です)
 - 属性項目のキーワードの値 (文字列) と結合することもできます。
 - 結合された状態で、さらに別の CSV データを結合すると直前の CSV データとの結合は解除されます。
 - 結合した CSV データの修正は「手順4 (4) 結合 CSV データの変更 (修正)」を参照してください。

●データの作成方法のイメージ (UserID で結合の場合)



注意 UserID の値は9ケタの整数まで有効です。UserID の値は重複しないようにします。

●データの作成方法のイメージ（キーワードで結合の場合）

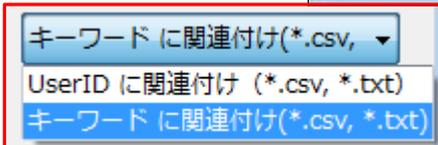
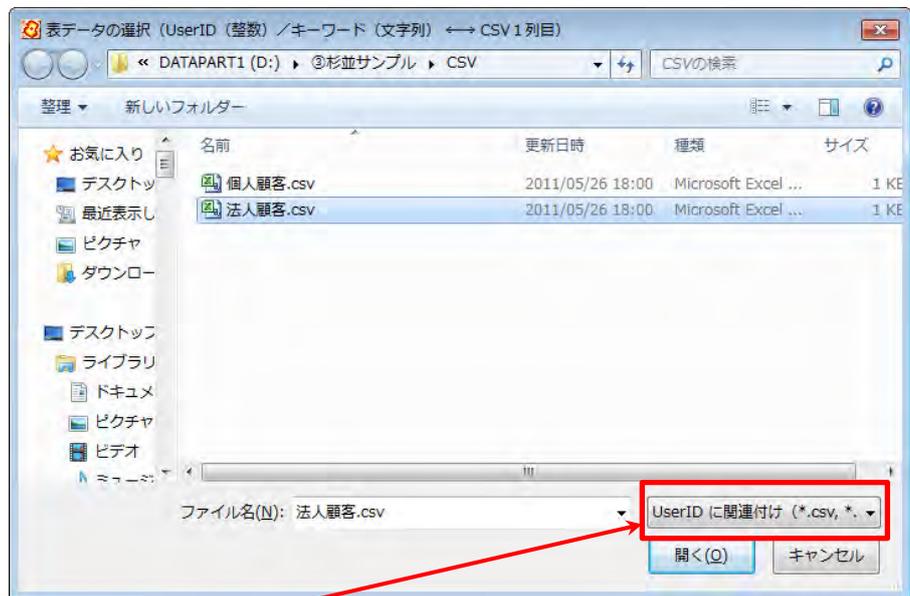


注意 キーワードの値は文字列です。キーワードの値は重複しないようにします。

- ① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。
- ② メニューバーから【CSV データ】→【結合】を選択します。

③ 「表データの選択」のダイアログでカンマ区切りテキスト (*.csv) を選択します。

通常は「UserID に関連付け」になっています。キーワードで関連付ける場合は、「キーワードに関連付け」を選びます。

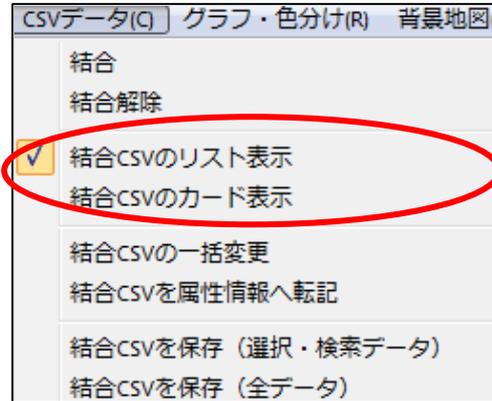


総務省統計局の「地図で見る統計（統計 GIS）」のサイトからダウンロードした国勢調査、事業所・企業統計調査の統計データを読み込む場合は、小区域（shape）データを先に、【他形式を編集レイヤに読み込み】→【国勢調査、事業所・企業統計調査データ】で読み込みます。その後、【CSV データ】→【CSV 結合】を選び、統計データを結合します。

(2) 結合 CSV データのリスト表示/カード表示【CSV データ】

前記 (1) CSV データの結合により編集レイヤと結合した CSV データをリスト形式やカード形式で表示することができます。

①メニューバーから【CSV データ】→【結合 CSV データのリスト表示】か【結合 CSV データのカード表示】を選択するか、ツールバーの  を選択するか、ツールバーの  を選択します。



選択しているレコード件数が表示されます

●リスト表示



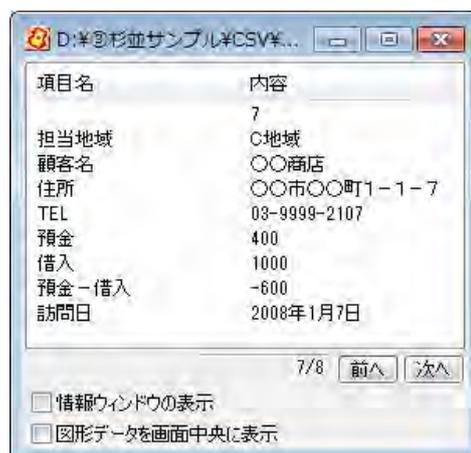
地図上の図形データを選択したら、結合した CSV データはリスト上で強調表示されます。リスト上の行をクリックすると地図上の図形データが選択表示 (マゼンタ色) されます。同時に、「情報ウィンドウ」の表示を行うか、選択データを画面の中央に表示するか、選択データだけをリスト表示するかどうかを指定できます。

CSV データの修正は「手順 4 (4) 結合 CSV データの変更 (修正)」を参照して下さい。

●カード表示

[次へ][前へ]ボタンを押すと、次または前のデータの属性情報を表示し、対応する図形を強調表示します。

CSV データの修正は「手順 4 (4) 結合 CSV データの変更 (修正)」を参照して下さい。



(3) 結合CSVデータリストの並べ替えと項目の非表示【CSV データ】

結合したCSVデータのリスト表示で、リストの並べ替えができます。項目名をクリックするとその項目をキーにして並べ替えます。項目名の右側に昇順降順を示すマークが表示されます。

▲ 担当地域	顧客名	住所	TEL	預金	借入	預金-借入	訪問日
1 A地域	〇〇株式会社	〇〇市〇〇町1-1-1	03-9999-2101	1000	4000	-3000	2008年1月7日
2 A地域	××株式会社	〇〇市〇〇町1-1-2	03-9999-2102	390	5000	-4610	2008年1月8日
3 A地域	△△株式会社	〇〇市〇〇町1-1-3	03-9999-2103	4000	300	3700	2008年1月9日
4 B地域	□□株式会社	〇〇市〇〇町1-1-4	03-9999-2104	50	20	30	2008年1月7日
5 B地域	株式会社〇〇〇	〇〇市〇〇町1-1-5	03-9999-2105	200	400	-200	2008年1月11...
6 C地域	〇〇商事	〇〇市〇〇町1-1-6	03-9999-2106	459	500	-41	2008年1月12...
7 C地域	〇〇商店	〇〇市〇〇町1-1-7	03-9999-2107	400	1000	-600	2008年1月7日
8 B地域	〇〇有限会社	〇〇市〇〇町1-1-8	03-9999-2108	200	450	-250	2008年1月14...

項目の並べ替え

担...
1 A地域
2 A地域
3 A地域
4 B地域
5 B地域
8 B地域
6 C地域
7 C地域

項目の非表示

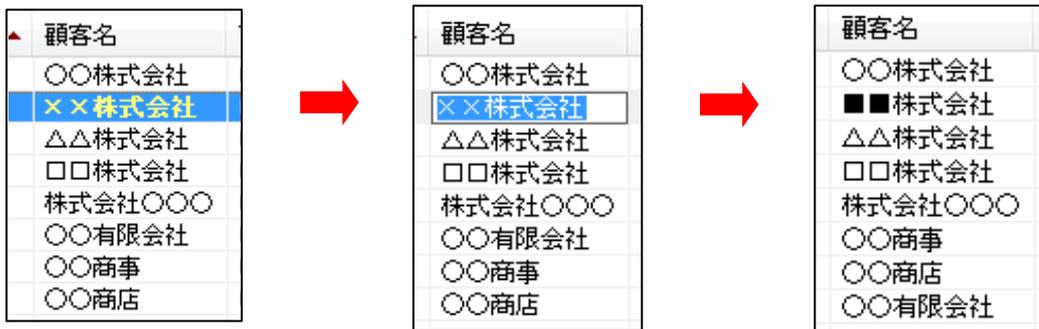
▲ 担当地域	顧客名	TEL	預金	借入	訪問日
1 A地域	〇〇株式会社	03-9999-2101	1000	4000	2008年1月7日
2 A地域	××株式会社	03-9999-2102	390	5000	2008年1月8日
3 A地域	△△株式会社	03-9999-2103	4000	300	2008年1月9日
4 B地域	□□株式会社	03-9999-2104	50	20	2008年1月7日
5 B地域	株式会社〇〇〇	03-9999-2105	200	400	2008年1月11...
6 C地域	〇〇商事	03-9999-2106	459	500	2008年1月12...
7 C地域	〇〇商店	03-9999-2107	400	1000	2008年1月7日
8 B地域	〇〇有限会社	03-9999-2108	200	450	2008年1月14...

項目名の枠にカーソルを合わせ、ドラッグすることで表示・非表示や順番を変更することができます。

(4) 結合CSVデータの変更(修正)【CSV データ】

結合したCSVデータをリストやカード上で変更(修正)することができます。但し、CSVデータの結合のキーになる UserID と項目名は編集できません。

- ①修正するカラムをクリック ②もう一度クリックして修正 (F2 キーでも可) ③修正済



(5) 結合CSVデータの一括変更【CSVデータ】

編集レイヤと結合しているCSVデータの内容を一括して変更できます。選択しているデータだけが変更の対象となります。

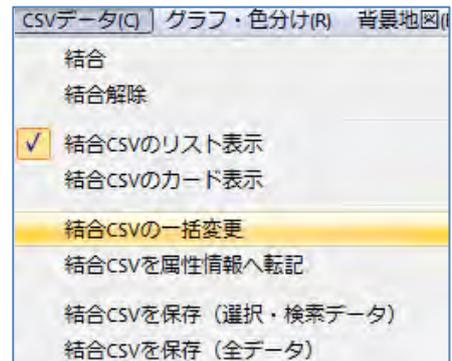
①結合 CSV リスト上で、一括して変更したいデータを選択する。

▲ 担当地域	顧客名	住所	TEL	預金	借入	預金-借入	訪問日
1 A地域	○○株式会社	○○市○○町1-1-1	03-9999-2101	1000	4000	-3000	2008年1月7日
2 A地域	■株式会社	○○市○○町1-1-2	03-9999-2102	390	5000	-4610	2008年1月8日
3 A地域	△△株式会社	○○市○○町1-1-3	03-9999-2103	4000	300	3700	2008年1月9日
4 B地域	□□株式会社	○○市○○町1-1-4	03-9999-2104	50	20	30	2008年1月7日
5 B地域	株式会社○○○	○○市○○町1-1-5	03-9999-2105	200	400	-200	2008年1月11...
6 C地域	○○商事	○○市○○町1-1-6	03-9999-2106	459	500	-41	2008年1月12...
7 C地域	○○商店	○○市○○町1-1-7	03-9999-2107	400	1000	-600	2008年1月7日
8 B地域	○○有限会社	○○市○○町1-1-8	03-9999-2108	200	450	-250	2008年1月14...

メニューバーから【検索】→【選択】で地図上の図形（点・線・面）を選択してもかまいません。

ツールバーの から選択できます。

②メニューバーから【CSVデータ】→【結合CSVの一括変更】を選択する。



③一括変更する項目を選び、値を入力する（例：担当地域をD地域に）

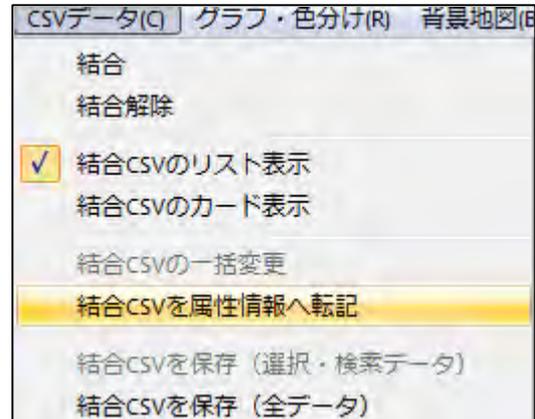
④担当地域が「D地域」に一括変更されます。

▲ 担当地域	顧客名
D地域	○○株式会社
D地域	■株式会社
D地域	△△株式会社
4 B地域	□□株式会社
5 B地域	株式会社○○○
6 C地域	○○商事
7 C地域	○○商店
8 B地域	○○有限会社

(6) 結合CSVデータを属性情報へ転記【CSV データ】

前記(1) CSVデータの結合により編集レイヤと結合した CSV データを、地図太郎の属性情報(タイトル、キーワード、内容等)として、編集レイヤに転記します。

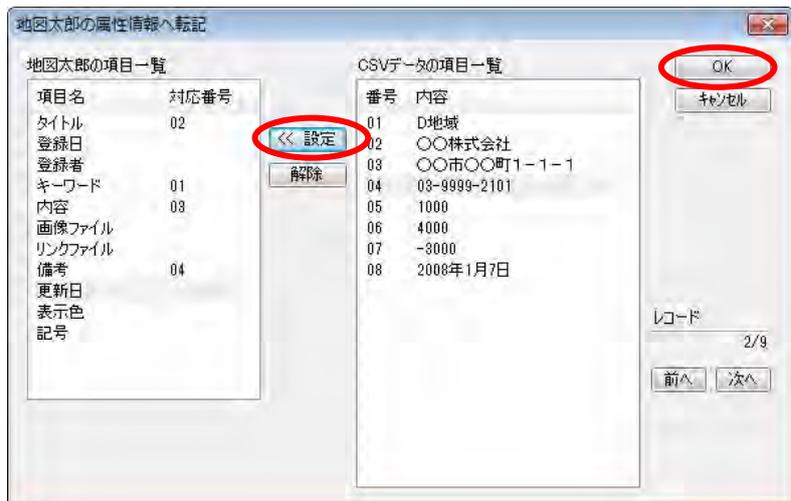
①メニューバーから【CSV データ】→【結合 CSV →属性情報へ転記】を選択します。



②「属性情報へ転記」のダイアログが表示されます。CSV データのどの内容を地図太郎のどの項目に転記するかを設定します。

右の例では地図太郎の属性情報として

- ・タイトル←02 顧客名
- ・キーワード←01 担当地域
- ・内容←03 住所
- ・備考←04 TEL



を設定しました。それぞれの項目をクリックして選択し、「<< 設定」ボタンをクリックすると対応番号が設定されます。最後に[OK]をクリックします。

③地図太郎の「属性情報」へ転記され、属性情報のリスト表示や地図上への属性表示(タイトル、キーワード)も可能になりました。



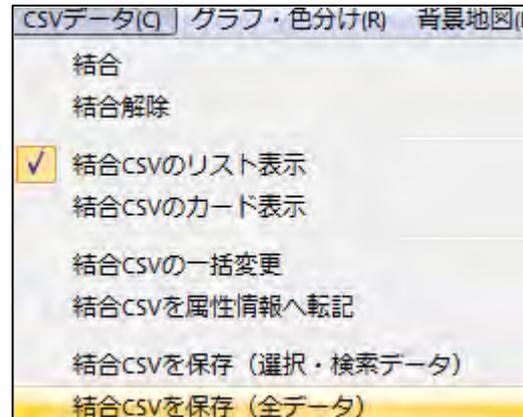
この例は、法人顧客のレイヤに転記した属性情報のリストを表示しています。

(8) 結合CSVデータの保存【CSV データ】

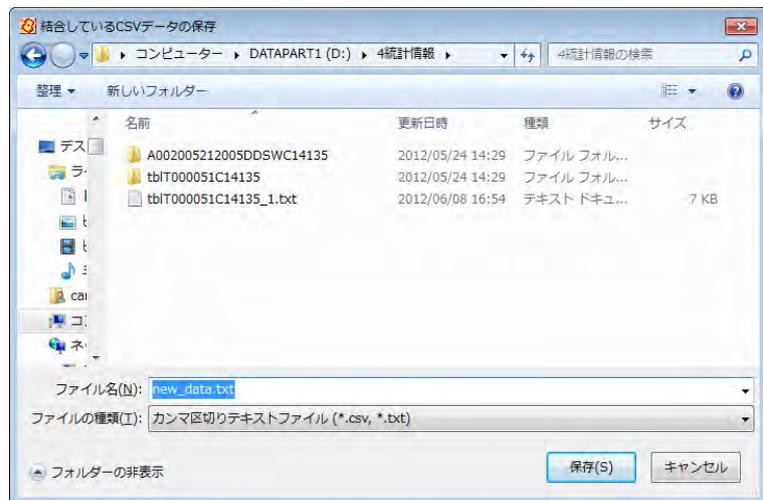
編集レイヤのデータと結合している CSV データをファイルに保存します。

前記「(7) 選択・検索した結合 CSV データの保存」と機能的には同じですが、前項が選択・検索された CSV データのみを保存するのに対し、この【結合 CSV 保存 (全データ)】では、結合されている全データが保存されます。結合した CSV データを変更 (修正) 後、保存しておく必要がある場合便利です。

- ①メニューバーから【CSV データ】→【結合 CSV を保存 (全データ)】を選択します。



- ②保存する場所 (フォルダ) を指定して、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。



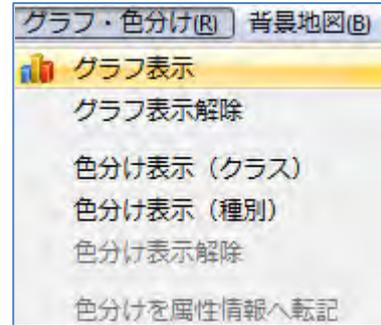
※別ファイルに保存したい場合、ファイル名を変更してください。

- ③カンマ区切りテキストファイルができていることを確認してください。
テキストエディタ (メモ帳等) で内容を確認できます。Excel で読み込んで、集計等を行うことができます。

(9) グラフ表示【グラフ・色分け】

地図太郎の「属性情報」か、前記(1) CSVデータの結合により編集レイヤと結合した「CSVデータの情報」かを選択してグラフ表示します。

①メニューバーから【グラフ・色分け】→【グラフ表示】を選択します。



CSVデータと結合している場合は、「結合している CSV データ」か地図太郎の「属性情報」どちらかを選択します。

②「グラフ表示」ダイアログで、グラフ表示する項目、グラフの形、色、大きさ、透明度を決めて「プレビュー」ボタンを押すとグラフが表示されます。グラフの凡例に単位を表示する場合は、凡例の単位を入力してください。

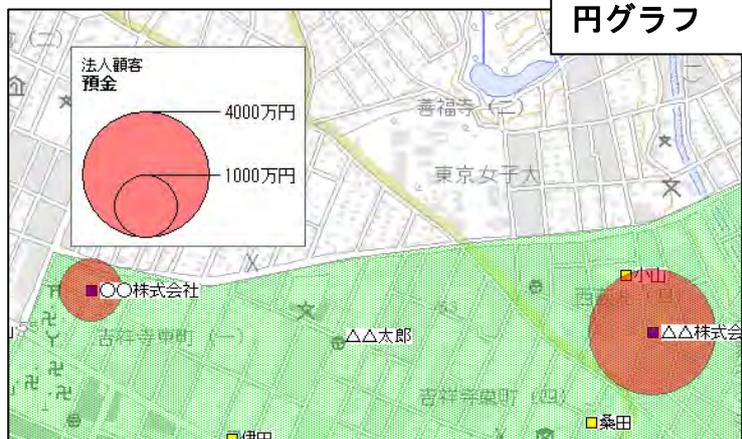
凡例値の最大値と中間値の変更機能とプレビューボタンがあります。

1. 「項目」を押してグラフを作成したい項目を含む表データを選びます。

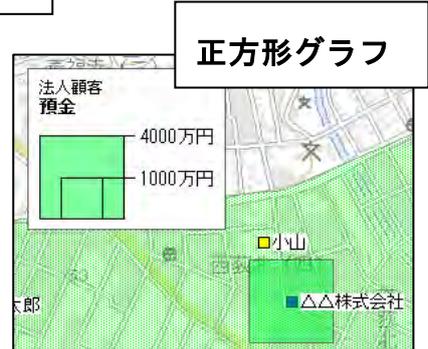
2. グラフを作成したい項目をクリックします。

預金	借入	預金-借入	訪問
1000	4000	-3000	2008
390	5000	-4610	2008
4000	300	3700	2008
50	20	30	2008
200	400	-200	2008

3. 「OK」を押してグラフを表示します。



円グラフ



正方形グラフ



棒グラフ

(10-1) 色分け表示 (クラス) 【グラフ・色分け】

地図太郎の「属性情報」か、前記(1) CSVデータの結合により編集レイヤと結合した「CSVデータの情報」かを選択してクラスにより色分け表示します。
設定は必ずワークファイルで保存します。

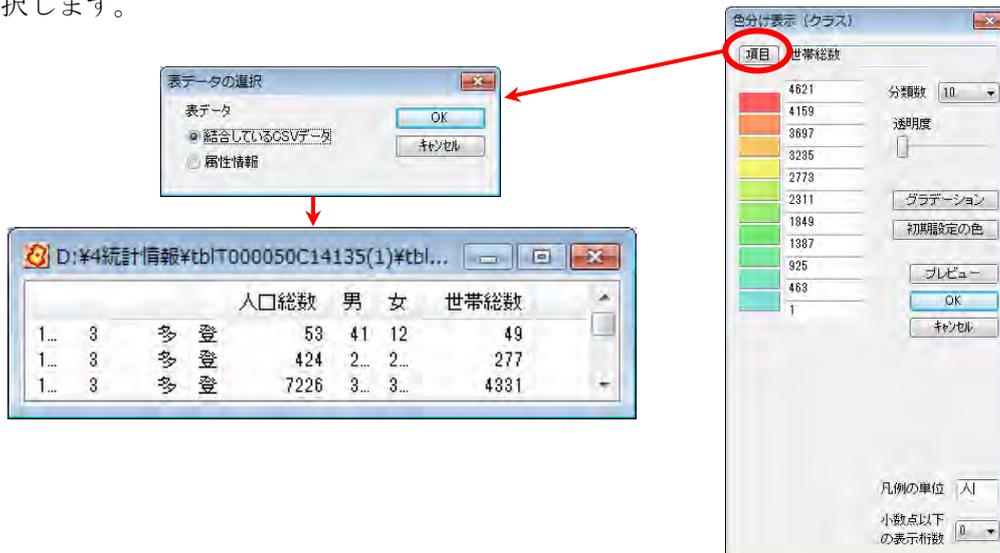
クラスは数値による色分け(例:人口、統計数値)を行います。

凡例は、右クリックで「最小化」や「閉じる」ことができます。また、棒グラフや円グラフを重ねて表示できます。

「地図太郎」

- ①メニューバーから【グラフ・色分け】→【色分け表示 (クラス)】を選択します。
- ②「色分け表示 (クラス)」ダイアログで、CSVの項目、色分けの分類数、色、透明度、分類値を決めて[OK]ボタンを押すと面データが色分け表示されます。

色分けする項目が、結合している CSV データにあるか、地図太郎の「属性情報」にあるかを選択します。



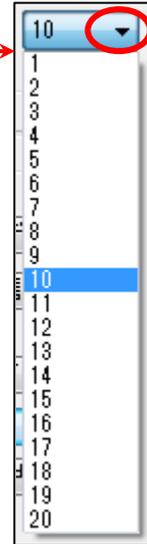
色は個々に指定することも、グラデーションをつけることもできます。分類数も指定できます。グラフの凡例に単位を表示する場合は、凡例の単位を入力してください。また、少数値がある場合は、少数点以下の桁数を指定することで、凡例に表示する桁数を変更することができます。「プレビュー」で、色チェックができます。

●透明度

スライダをドラッグして透明度を設定します。

●分類数

20 までクラス分けできます。



●個々の色分け

クリックして色を選択します。

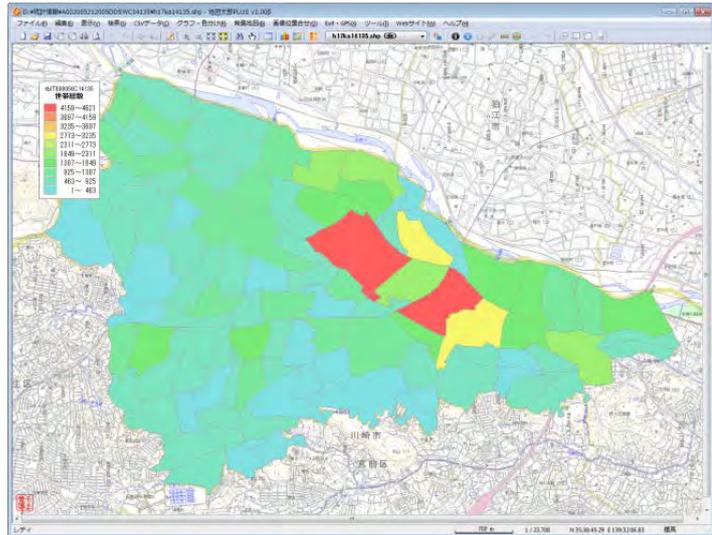


●グラデーション

最小と最大のクラスの色を指定し、「グラデーション」をクリックします。「初期設定の色」をクリックすると初期状態のグラデーションに戻ります。



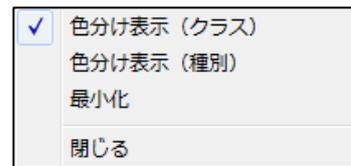
③[OK]ボタンを押すと、色塗りされ、凡例が表示されます。



画面上で右クリックするとメニューから「グラフ表示」等が選択できます。

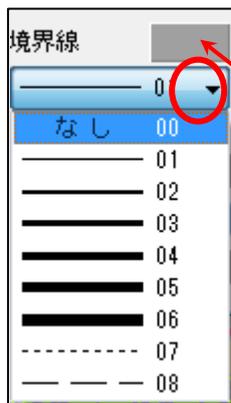


凡例はドラッグで移動できます。
凡例を右クリックするとメニューから「色分け表示」等が選択できます。

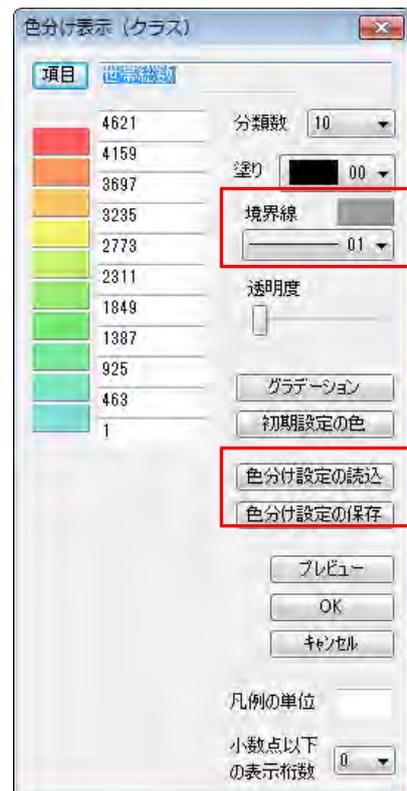


「地図太郎 PLUS」

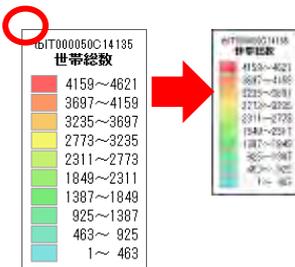
「地図太郎 PLUS」では境界線の色と線種が設定できます。
また、「色分け設定の保存」と「色分け設定の読込」ができます(参照:(11)色分け表示の設定を保存する・読込む)。



クリックして色を選択します。



凡例は四隅のいずれかをドラッグするとサイズを変更できます。



(10-2) 色分け表示 (種別) 【グラフ・色分け】

地図太郎の「属性情報」か、前記 (1) CSVデータの結合により編集レイヤと結合した「CSVデータの情報」かを選択して種別により色分け表示します。
設定は必ずワークファイルで保存します。

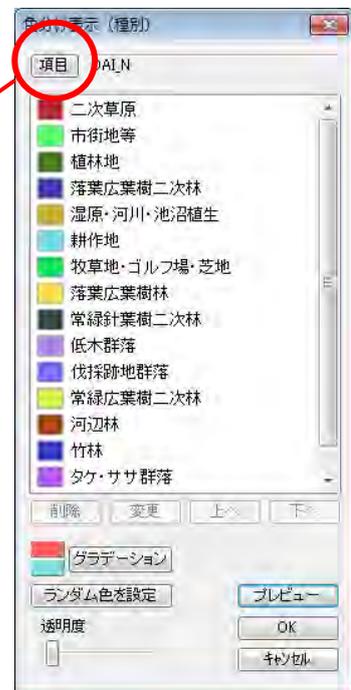
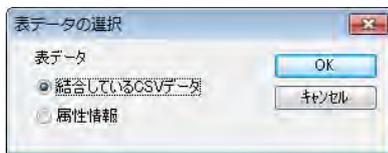
- ・ 種別は個別値による色分け (例：植生、土地利用) を行います。
- ・ 凡例は、右クリックで「最小化」や「閉じる」ことができます。また、棒グラフや円グラフを重ねて表示できます。
- ・ 最大分類数は「地図太郎」では 198 種、「地図太郎 PLUS」では 1000 種まで対応します。

「地図太郎」

①メニューバーから【グラフ・色分け】→【色分け表示 (種別)】を選択します。

②「色分け表示 (種別)」ダイアログで、CSV の項目をえらび、色、透明度、を決めて[OK]ボタンを押すと面データが色分け表示されます。

色分けする項目が、結合している CSV データにあるか、地図太郎の「属性情報」にあるかを選択します。



クリックして下さい。

SHOKU_N	DAI_C	DAI_N	CHU_C	CHU_N	SAI_C
ヤブツ...	45	二次...	01	スス...	03
その他	58	市街...	06	開放...	00

色は個々に指定することも、グラデーションをつけることもできます。「プレビュー」で、色チェックができます。「ランダム色を設定」をクリックすると種別全部がランダム色で設定されます

●透明度

スライダをドラッグして透明度を設定します。

●色の個別指定

クリックします。

選択して、ダブルクリック、または、選択して「変更」ボタンをクリックします。

色を選択します。

●グラデーション

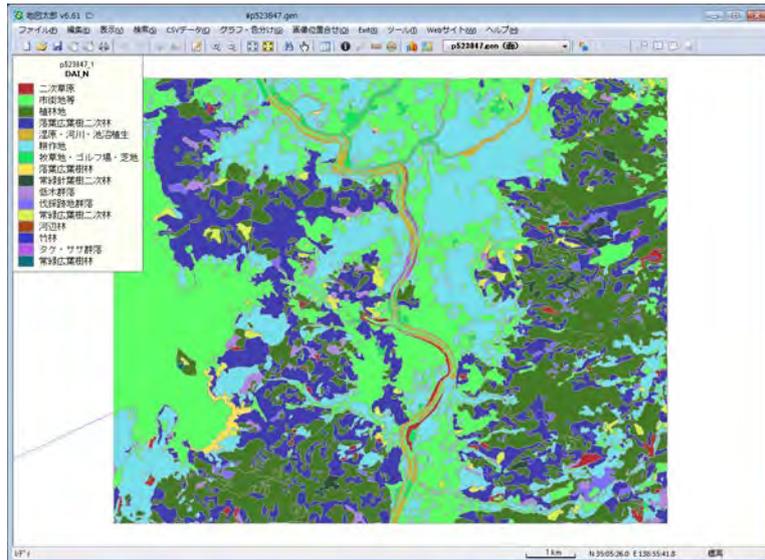
最初と最後の色を指定して、「グラデーション」をクリックします。

クリックして色を選択します。

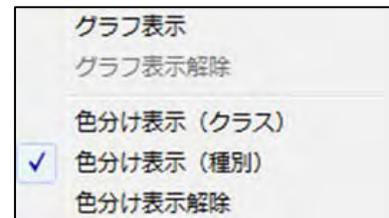
- 削除 変更 上へ 下へ

「削除」・・・種別の削除ができます。削除した種別は色塗りされません。
 「上へ・下へ」・・・凡例の順序を変えます。

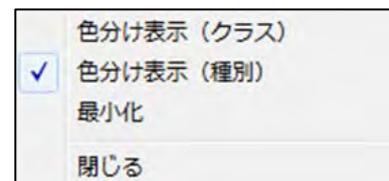
③色塗りされ、凡例が表示されます。



画面上で右クリックするとメニューから「グラフ表示」等が選択できます。



凡例はドラッグで移動できます。
凡例を右クリックするとメニューから「色分け表示」等が選択できます。



「地図太郎 PLUS」

①メニューバーから【グラフ・色分け】→【色分け表示（種別）】を選択します。

②「色分け表示（種別）」ダイアログで、CSVの項目をえらび、色、透明度、塗り、境界線を決めて[OK]ボタンを押すと面データが色分け表示されます。詳細は前ページ「**地図太郎**」を参照参照してください。

2つの項目をキーにした色分けも可能です。

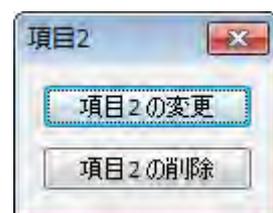


● 2つの項目をキーにした色分け

2つの項目を選択したとき、
 項目1に値があり、項目2に値がない場合は分類（色分け）されます。
 項目1に値がなく、項目2に値がある場合は分類（色分け）されません。

「項目2」ボタンをクリックして、項目1を選んだと同様に項目2用の色分けする項目を、選択します。表示されるリストの項目をダブルクリックします。
 詳細は前ページ「**地図太郎**」を参照してください。

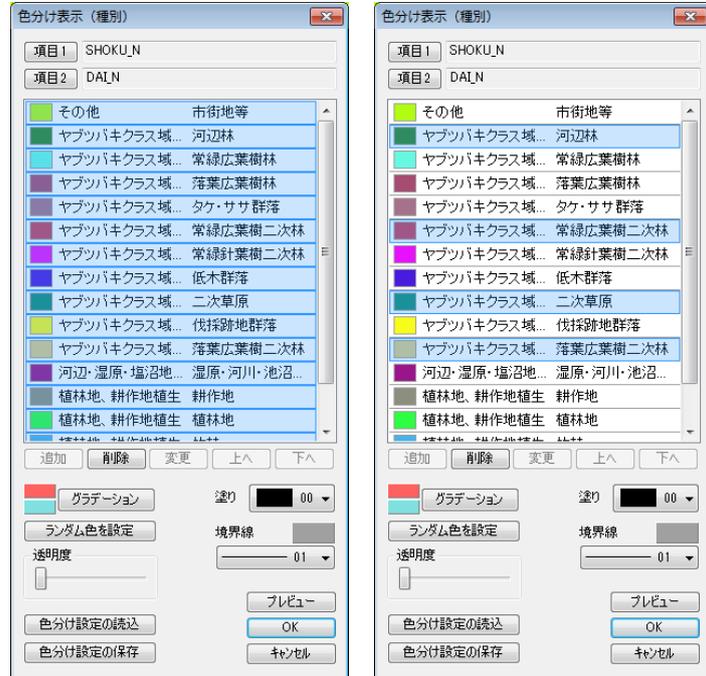
項目2を変更・削除するには「項目2」ボタンをクリックし、ダイアログの「項目2の変更」・「項目2の削除」ボタンを選びます。



●ランダム色・塗り・境界線・グラデーションの設定

選択した種別にランダム色・塗り・境界線の設定・グラデーションを行うことができます。

選択は、shift キーを押しながらスクロールして最後の種別をクリックします。または、Ctrl キーを押しながらクリックして選びます。

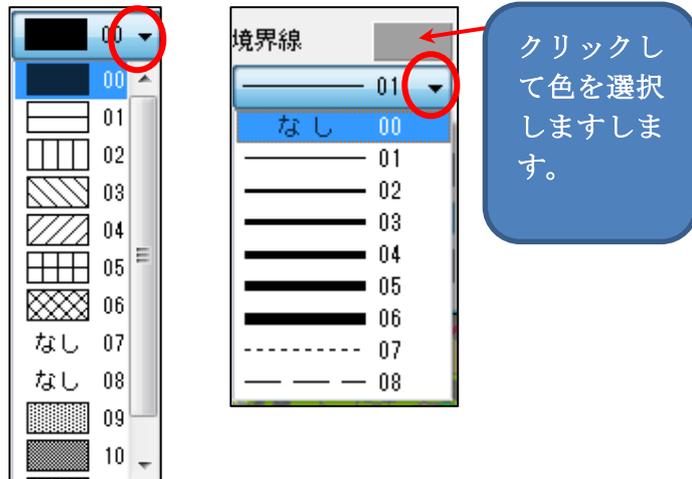


●グラデーションの色設定

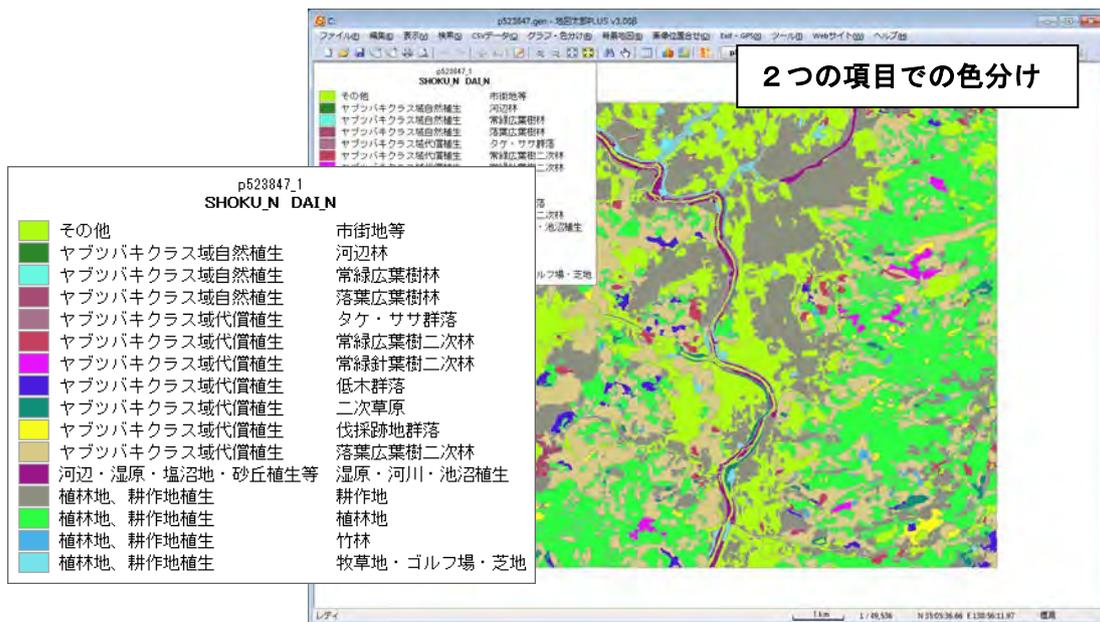
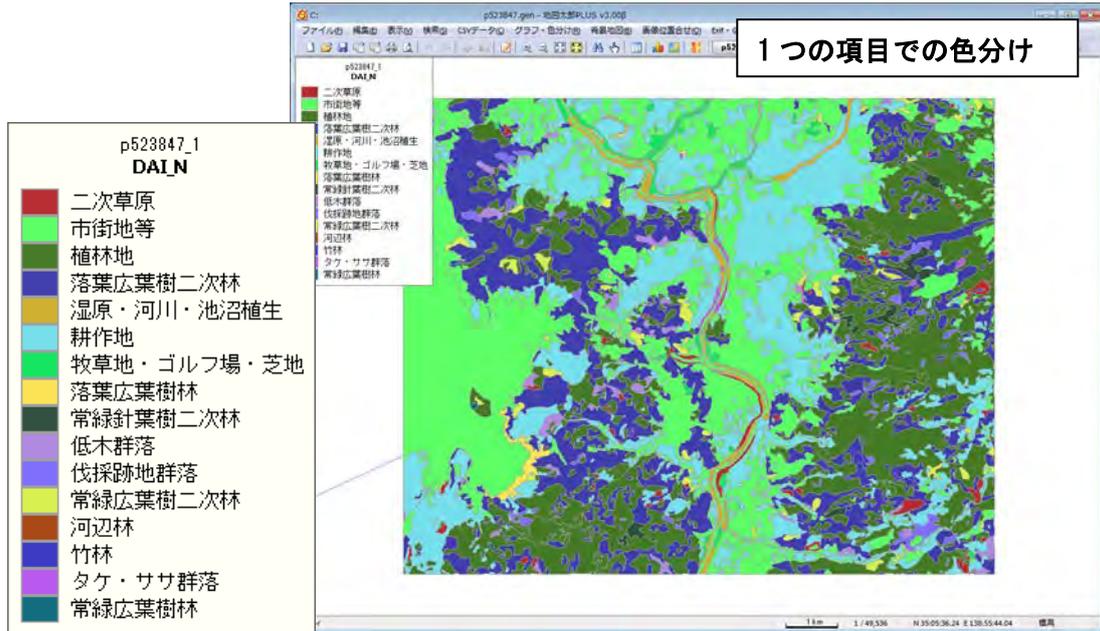
最初の種別と最後の種別の色を指定してします。



●塗り・境界線の選択



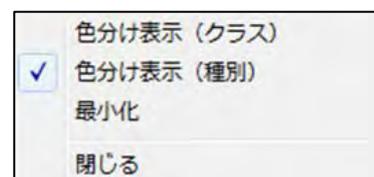
③色塗りされ、凡例が表示されます。



画面上で右クリックするとメニューから「グラフ表示」等が選択できます。



- ・ 凡例はドラッグで移動できます。
- ・ 四隅のいずれかをドラッグするとサイズを変更できます。
- ・ 凡例を右クリックするとメニューから「色分け表示」等が選択できます。



(11) 色分け表示の設定を保存する・読込む【グラフ・色分け】PLUS

「地図太郎 PLUS」では色分け表示（クラス）・色分け表示（種別）ダイアログに「色分け設定の保存」と「色分け設定の読込」のボタンが追加されました。

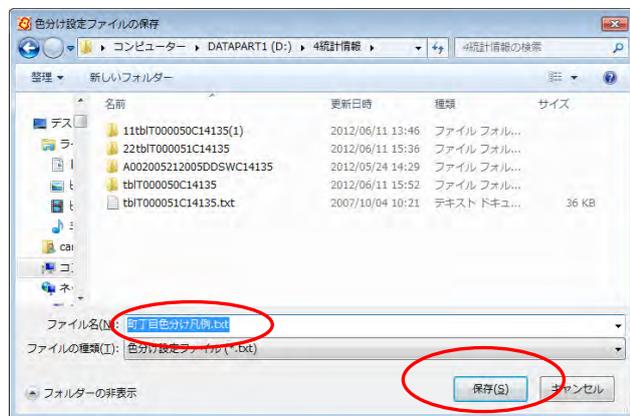
●「色分け設定の保存」

①「色分け設定の保存」ボタンをクリックします。



②「色分け設定ファイルの保存」ダイアログが表示されます。

ファイル名を入力して「保存」をクリックします。設定ファイルが保存されます。

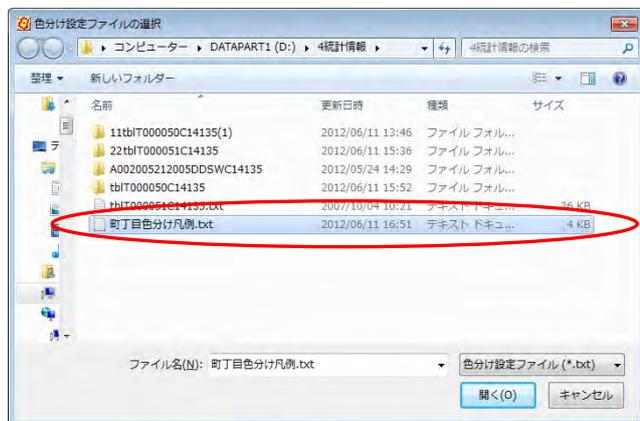


●「色分け設定の読み込み」

①「色分け設定の読込」ボタンを押します。

②「色分け設定ファイルの選択」ダイアログが表示されます。

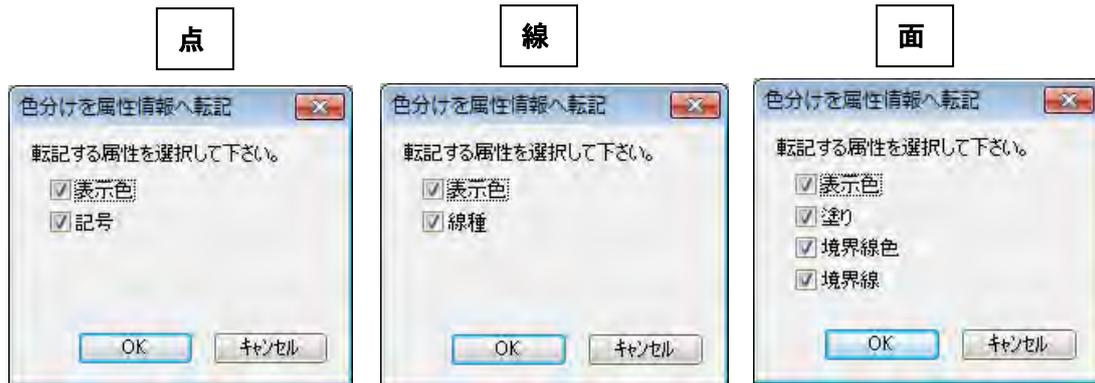
③色分け設定ファイルを選択して「開く」をクリックします。ファイルから設定値が読み込まれます。



(12) 色分けを属性情報に転記【グラフ・色分け】 PLUS

「色分け」した表示色を属性情報へ転記します。記号・線種・網掛けも転記することができます。

- ① (10) 色分け表示【グラフ・色分け】の方法で色分けしておきます。
- ②メニューバーから【グラフ・色分け】→【色分けを属性情報に転記の設定】で「色分けを属性情報に転記」のダイアログを表示します。
- ③転記する内容を決めます。



④[OK]ボタンを押します。属性に色情報と記号、線種または、塗り・境界線の情報が転記されます

(例) 点の場合

転記前

UserID	タイトル	登録	キーワード	内容	画	表示色	記号
1	すど観光農園	2	お寺		D...	65535	8
2	嫁いらず観音	2	お寺	奈良時代天平9...	D...	65280	6
3	華鶴美術館	2	美術館	財団法人タカヤ...	D...	65535	6
4	興譲館高校	2	学校	●所在/岡山県...	D...	167116...	6
5	経ヶ丸	2	名所	テントサイト(1サイ...	D...	265	6
6	高越城跡	2	名所、旧跡	北条早雲は、14...	D...	265	6
7	田中美術館	2	美術館	日本彫刻界の巨...	D...	167116...	3621
8	道祖浜	2	史蹟、名勝	道祖浜(どうそけ...	D...	265	6
9	那須与一の墓	2	史蹟、名勝	■源平合戦の地...	D...	265	6
10	波形岩	2	史蹟、名勝	波形岩●昭和2...	D...	265	6
11	市民会館	2	公共施設	・市民会館の...	D...	167116...	6

転記後

UserID	タイトル	登録	キーワード	内容	画	表示色	記号
1	すど観光農園	2	お寺		D...	13006896	8
2	嫁いらず観音	2	お寺	奈良時代天平9...	D...	13006896	8
3	華鶴美術館	2	美術館	財団法人タカヤ...	D...	6812936	8
4	興譲館高校	2	学校	●所在/岡山県...	D...	6134476	8
5	経ヶ丸	2	名所	テントサイト(1サイ...	D...	10899949	8
6	高越城跡	2	名所、旧跡	北条早雲は、14...	D...	14326102	8
7	田中美術館	2	美術館	日本彫刻界の巨...	D...	6812936	8
8	道祖浜	2	史蹟、名勝	道祖浜(どうそけ...	D...	6462287	8
9	那須与一の墓	2	史蹟、名勝	■源平合戦の地...	D...	6462287	8
10	波形岩	2	史蹟、名勝	波形岩●昭和2...	D...	6462287	8
11	市民会館	2	公共施設	・市民会館の...	D...	16103660	8

(13) 線データの透過【グラフ・色分け】 PLUS

色分けで線データにも透過機能が利用できます

①編集レイヤは線データを選択します。メニューバーから【グラフ・色分け】→【色分け表示 (クラス)】または【色分け表示 (種別)】を選択します。

②「色分け表示」ダイアログの必要な各設定及び「透明度」を設定します。設定後「OK」をクリックします。



線が透過になります。

